

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道美瑛市 市立美瑛病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
19,500	10,261	第2種該当	-	10：1

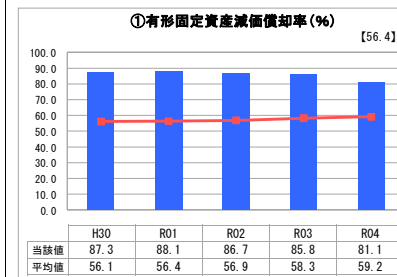
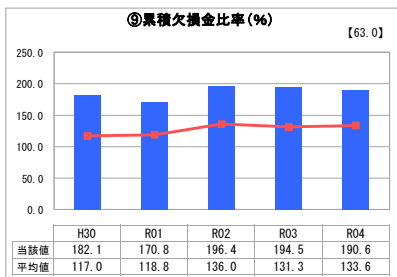
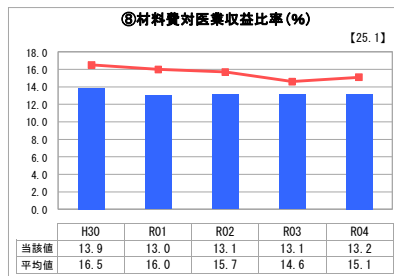
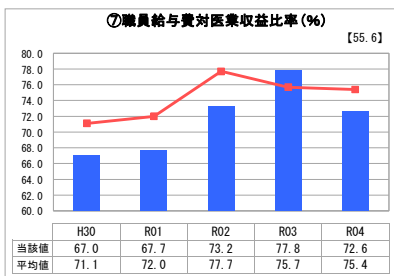
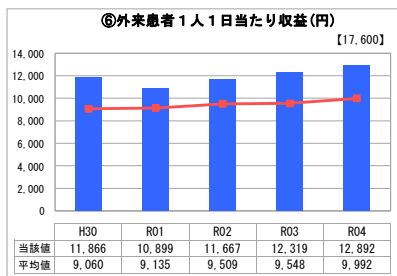
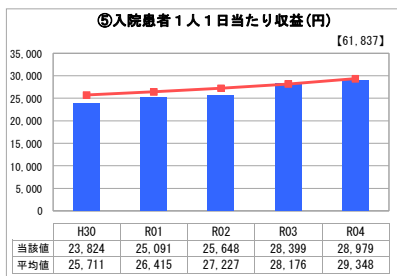
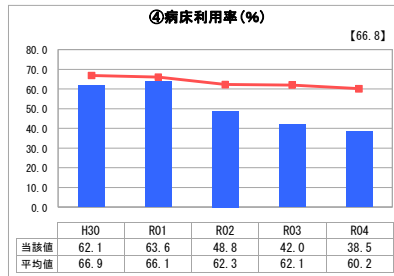
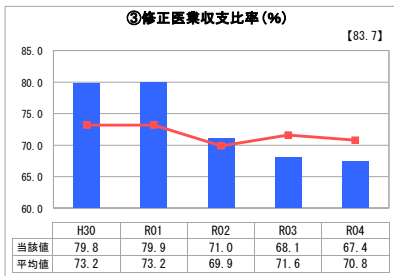
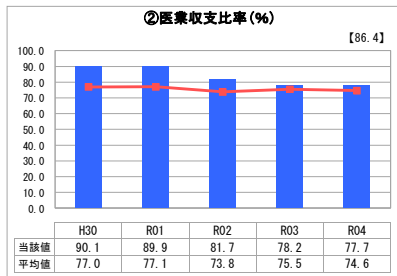
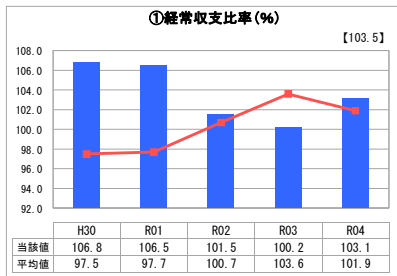
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

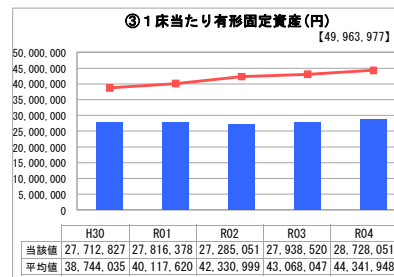
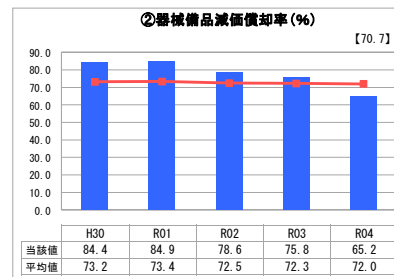
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
53	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
23	25	48

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の形態・ネットワークを含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

救急医療・透析医療・小児医療を担う市内唯一の病院である。訪問診療や訪問看護の充実を図るほか、保健・福祉・介護分野の専門職や関係機関との連携により、疾病予防や入院支援の強化に努めている。
学校医など保健行政活動への協力、福祉施設の協力病院などの地域貢献、研修医・看護学生の実習機関としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度の料金収入については、入院は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、第7波、第8波では入院患者の減が顕著であった。外来は、常勤医師の不足、通常の診療時間と並行して臨時発熱外来での診療を行ったことにより診察できる患者数が限られたことなどから前年度横ばいとなった。

これにより①④の低下がみられた。⑤⑥は増加傾向であり、⑧に大きな変化はない。材料費については、材料費のベンチマーク活用、薬価交渉を行っている。

収入増加・確保対策として、新たな施設基準取得に向けた体制や、訪問診療（看護）体制の充実を図り、患者ニーズに応えること、感染対策を行い、安心・安全な医療の提供に努めることで①④の改善を図ることとしている。

2. 老朽化の状況について

現病舎は築50年以上（昭和38年～41年建設）経過し、設備関係をはじめ施設全体の老朽化が著しい。

現在、病院建替事業及び年次更新計画により医療機器等の整備をすすめていることから、①有形固定資産減価償却率②機械備品減価償却率についても解消される。

全体総括

「I 地域において担っている役割」で述べたように、不採算部門に関する医療の提供を行っていることから、②医業収支比率の伸びが鈍化している。

地域包括ケア病床の増床（令和2年度に8床から11床に増床）、訪問診療（看護）体制の充実や、新たな施設基準を取得することにより増収に努め、安定した収益が確保できるよう改善に努める。

令和4年度については、支障物件の解体、実施設計の策定を行った。安心安全な診療体制を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策として院外に仮設臨時発熱外来を設置したほか、新型コロナウイルス接種を行い、地域の基幹病院としての役割を果たすよう努めた。
医療機器の整備では、電子カルテ導入等の情報網を整備した。経営面では、総務省策定「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「市立美瑛病院経営強化プラン」を策定した。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。